

令和7年6月12日(木)

「6年生 総合的な学習の時間」

総合的な学習の時間「いちのみや まちづくりプロジェクト2025」の様子です。本日は、学芸員さんを講師としてお招きし、町の偉人である「加納久宜」「関和知」お二人の業績についてお話しいただきました。



授業後の振り返りを一部抜粋して紹介

・僕は、学芸員さんに話を聞いて加納ひさよしさんが、一宮町の最初の町長と初めて知りました。加納ひさよしさんだけではなく、他のいろいろな人が一宮町を作るのに苦労したのがわかりました。なぜ一宮を作ろうとしたとしたのかなと思いました。一宮を作ってくれたから僕達はこの一宮に住めているからありがたいと思います。関和知さんが広めたナシはいま千葉で美味しい梨になっているので今食べてもらいたいくらいです。

・私は、学芸員さんのお話を聞いて、初めてわかったことがあります。それは図書室の写真です。正直、関和知という人だったのかもわからなかったし、何をしたのもしりませんでした。でも今日この授業で、わからなかったことが新しくわかってすごく嬉しいです。また学芸員さんのお話はわかりやすく、お話に吸い込まれるように興味が湧くようなそんなお話だと思いました。次の総合の学習では学芸員さんがお話してくださったことを活かして次の学習も頑張りたいです。本当にいいお話でした!!!ありがとうございました。

・私は今回の学習で、一宮町の歴史を学びました。加納ひさよしさん、関和知さんが一宮町のためにしたことを学びました。一宮町を「豊かになるように」まちづくりをしていました。海・川・山・食べ物などその一宮町の魅力を活用し、人を呼び集めたと学びました。様々な工夫をして今の一宮町があるんだなあと思いました。もっと一宮のことを知って、「町作り」をしたいです。

・私は、学芸員さんのお話を聞いて、一宮町のことを丁寧に説明してくれて、すごく一宮町のことが大切なことが伝わりました。私も一宮町の一人として、一宮町をもっと良くするために考えたいと思います!

・私は、学芸員さんの話を聞いて歴史ってすごいんだなと思いました。加納さんは色々な仕事をし、色々な経験をしている中で一番凄いなと思った仕事は一宮町長です。なぜかという自分の考えて、海をキーワードにし、人を集めたり、駅から→海岸への道路を作ろうとしたり本当に凄いなと思いました。それと私は、一宮町で何かしら役に立ちたいなと考えました。